

大阪市環境影響評価専門委員会（大気・悪臭合同部会）会議要旨

- 1 日 時 ①令和6年3月13日（水）10時00分～10時40分
②令和6年3月13日（水）14時00分～15時15分
③令和6年3月18日（月）13時00分～13時25分
- 2 開催場所 ウェブ会議の方法により開催
- 3 出席者 専門委員会委員：①山本委員 ②近藤会長 竹村委員 ③塩見委員
連絡会委員：環境局環境管理部環境管理課長 他
事務局：環境局環境管理部環境管理課
- 4 議 題
（仮称）中山製鋼所船町工場新製鋼施設建設事業に係る環境影響評価方法書について
- 5 議事要旨
 - ・ 方法書の内容について、審議を行い、指摘・意見を次のとおり取りまとめた。
〔交通計画について〕
 - ・ 施設関連車両の主要な走行ルート別の走行割合について、現状把握及び将来予測を
するとともに、事業計画地周辺の交通状況も勘案し、工事計画において工事関連車
両の走行ルートを設定した上で、予測及び評価する必要がある。
 - ・ 車列渋滞対策について、事業者の考え方に問題はないが、場外に車列渋滞が発生し
ないよう適切に運行管理されたい。
 - 〔SDGs 達成への貢献について〕
 - ・ 事業者の考え方に問題はないが、SDGs 達成への貢献について、本事業を含む事業
者の取組みをできるだけ詳細に環境影響評価準備書に示されたい。
 - 〔大気質について〕
 - ・ 指針値が定められている物質以外の評価について、環境保全目標とする数値の明確
な設定根拠がないことから、現地調査結果等を踏まえ、環境への影響を最小限にと
どめられるよう、自主的な管理目標値を設定するとともに、事後調査において確認
されたい。
 - ・ 一般環境の予測にあたっては、現地調査地点以外の予測地点においても通年調査又
は四季調査を実施するか、もしくは事業計画地近傍の一般環境大気常時監視測定局
（平尾小学校局）の測定結果と比較した上で、過小評価とならないよう、適切にバ
ックグラウンド濃度を設定する必要がある。
 - ・ 短期の予測にあたり、北方向に予測評価地点として追加することとした平尾小学校
局のバックグラウンド濃度については、鶴町南公園の測定結果を使用するのではな
く、平尾小学校局においても現地調査を実施し、その測定結果から設定する必要が

ある。

- ・ 道路沿道の予測にあたっては、現地調査地点の測定結果を予測地点すべてのバックグラウンド濃度とするのではなく、特に事業計画地南側の予測地点においては、四季調査の実施検討や近傍の自動車排出ガス測定局（住之江交差点局）の測定結果等も踏まえ、適切にバックグラウンド濃度を設定し、予測・評価を実施する必要がある。

[悪臭について]

- ・ 現地調査地点の選定について、問題はないが、調査時に改めて悪臭の発生源が近傍にないことを確認した上で、適切な地点において試料採取を実施されたい。
- ・ 現地調査時期及び頻度について問題はないが、悪臭は風の影響を強く受けることから、サンプリング時の風向風速に十分注意して現地調査を実施されたい。
- ・ 大気拡散モデルによる臭気指数の予測方法について問題はないが、悪臭の原因物質が特定されていないため、予測時には適切な点煙源強度を設定する必要がある。

[地球環境について]

- ・ 2030年度にCO₂を2013年度から46%削減することを計画しているものの、CO₂以外の温室効果ガス種についても予測に含め、温室効果ガス排出量削減目標を設定されたい。
- ・ 温室効果ガスの排出量の積算にあたっては、太陽光発電による再生可能エネルギーの活用に係るCO₂削減量も考慮されたい。

6 問合せ先

環境局環境管理部環境管理課

住所 〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル0's 棟南館5階

電話 06-6615-7938